

地区だより

…………… 令和5年2月1日発行

ちゅうおう

<地区人口と世帯数>

男 18,953人 女 20,453人

計 39,406人

世帯数：20,900世帯

(1月1日現在)

2023

2月号

市からのお知らせ

【編集発行】

福島市役所広聴広報課

〒960-8601 福島市五老内町3-1

☎525-3710 ☎536-9828

中央地区 自治振・町会連 合同研修会を開催 「災害に対する心構え」

昨年11月15日、中央東・中央西地区自治振興協議会と中央地区町会連合会の委員48人が「県危機管理センター」にて防災講座を受講しました。

「いざ」というときのための日頃の備えの大切さ、命を守る行動について学び、参加者からは「より具体的にためになる研修だった」との声が聞かれました。

研修で得られた災害に対する心構えを地域での活動に生かしていきます。

■問／地域共創課 ☎525-3731



▲災害発生時に県知事などが集まる
「災害対策本部会議室」で講義を受けました



▲VR(バーチャルリアリティ)機器を使って
実際の災害発生現場を体感しました

令和5年 福島市消防出初式

1月7日、7年ぶりに福島駅前通りを会場に開催した消防出初式。式典では、地域の安全・安心を守るために消防活動に尽力した団員・分団が表彰されました。

中央地区では、14人の団員と4つの分団が受賞しました。おめでとうございます。

また今回は、女性団員である第1分団の小西友美子さんと4人の女性防火クラブ員が受賞しました。今後ますます地域を守る場での女性の活躍が期待されます。

■問／消防総務課 ☎534-9107

(敬称略)

■市長表彰

【消防功労章】

- | | | | |
|-------------|----------------------|------------|------------------|
| よしの
・吉野 | たいじ
太二(第4分団) | きとう
・木藤 | のりくに
昇訓(第4分団) |
| おおうち
・大内 | きょうめい
匡明(第4分団) | たんじ
・丹治 | さとし
哲(第5分団) |
| あいはら
・相原 | よしかつ
芳勝(第22分団野田町) | | |

■市消防団長表彰

【優良団員章】

- | | | |
|------------------------|------------------|--------------------|
| こにしゆみこ
・小西友美子(第1分団) | こんの
・紺野 | りゅういち
隆一(第4分団) |
| たけだ
・武田 | きよはる
清治(第4分団) | ちこう
智剛(第5分団) |
| おかた
・尾形 | きんや
欣哉(第6分団) | たけし
武志(第6分団) |
| こおり
・桑折 | たかゆき
孝行(第6分団) | ひろし
博(第22分団野田町) |

■福島ロータリークラブ会長表彰

【永年勤続章】

- きくち まさき
・菊地 正樹(第5分団)

【竿頭綬】(無火災分団表彰)

- ・第2分団 ・第5分団 ・第6分団
・第22分団野田町



中央学習センターからのお知らせ

【編集】福島市中央学習センター
〒960-8018 福島市松木町1番7号
☎534-6631 ☎533-7592

受講生募集！

1

市民学校 子どもの教育講座 子どもとお金にまつわる話

- 日 時 ①3月4日(土) ②3月11日(土) ①②とも午前10時～11時30分(終了予定)
※全2回の連続講座となります
- 場 所 中央学習センター ホール
- 内 容 ①「わが家の金銭教育」子どもとお金のかかり方やお小遣いの与え方などについて
②「いくらかかるの教育資金」これからかかる教育資金の目安と準備の方法、奨学金制度などについて
- 講 師 福島県金融広報委員会より
①金融広報アドバイザー 田崎 由子 先生
②金融広報アドバイザー 矢野 美香 先生
- 対象者 中央地区在勤・在住の一般成人の方
- 定 員 20名(先着順)
- 参加費 100円 ※ファイル代等
- 準備物 筆記用具等



【申込QRコード】



2

ICT活用セミナー スマートフォン集中講座 初心者向けアプリ講座

- 日 時 3月8日(水) 午後2時～4時(終了予定)
- 場 所 中央学習センター ホール
- 内 容 スマホのアプリの種類や取り方・使い方・注意点やLINE(ライン)の使い方
※持っているスマホを使用します
- 講 師 ドコモショップ福島北店より
- 対象者 中央地区在勤・在住の一般成人の方
- 定 員 12名(先着順)
- 参加費 無料 ※各自持参するスマホ使用による通信料は、自己負担となります。
- 準備物 持っているスマートフォン(らくらくフォン・iPhone・その他のスマホ)・筆記用具等
※スマホは十分に充電し、持参ください



【申込QRコード】

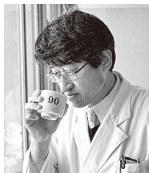


上記講座 1・2 の申し込み方法

2月8日(水)から2月27日(月)の間に①掲載QRコードよりオンライン ②中央学習センター窓口 ③電話による①～③のいずれかの方法で申し込みください。電話での申し込みは2月9日(木)より受け付けます。
※1の講座にオンラインまたは電話で申し込みの場合、参加費は当日でも結構です。

マスターズ連絡会講演会 「ふくしまの日本酒にける思い～全国新酒鑑評会金賞数9年連続日本一の秘訣」

ふくしまマスターズ連絡会では、市民の皆様の生きがいづくりをサポートするため福島県内で活躍する著名人を講師に招き講演会を開催します。
今回の講師は「日本酒の神様」と呼ばれ日本酒造りを科学でサポートしてきた鈴木賢二さんです。多くの皆様の参加をお待ちしております。



- ★日 時：2月24日(金) 午後2～3時30分(開場：午後1時)
- ★ところ：こむこむ館わいわいホール
- ★講 師：福島県酒造組合特別顧問・福島県日本酒アドバイザー 鈴木 賢二 さん
- ★対象者：市内在住の方、マスターズ同期生会会員
- ★参加費：無料
- ★申込み：締切は2月17日(金)までに、オンライン申請システムまたは窓口で受付。



令和やさしい地元学 信夫野・歴史の細道 第23回 会長：紺野義行 氏

東北二つの関ヶ原の合戦 「政宗、信夫山に陣を構える」

慶長5年(1600)9月15日、美濃国(岐阜県不破郡関ヶ原町)を主戦場として石田三成を将とする西軍(9万3700余騎)と徳川家康を将とする東軍(7万6000余騎)との戦いが行われた。この関ヶ原における決戦を中心に日本の全国各地でも戦闘が行われ、東北でも東北の関ヶ原の合戦とされる戦いが出羽国と陸奥国で行われた。出羽国では東軍の最上義光と西軍の上杉家臣直江兼続が激戦を繰り広げた。一方、陸奥国では東軍の伊達政宗も、上杉景勝が謀反を企てたとして征伐を行うことを決定した徳川家康の命に従い、7月12日に北目城(宮城県仙台市)に入っていた。同月24日には白石城(宮城県白石市)攻撃が開始され、上杉氏との戦いの火蓋は切られた。政宗は関ヶ原合戦の前月に、家康から刈田・伊達・信夫・二本松・塩松・田村・長井の七ヶ所を本領として宛行うという判物をもらっていた(百万石の御墨付)が、関ヶ原の合戦は小早川秀秋の裏切りもあり東軍徳川家康方が勝利した。

政宗は、景勝を自力で討ち、伊達氏の故郷伊達郡や政宗の旧領地の奪還となる「百万石の御墨付」を確実にしようと、10月5日に北目城を出発、信達へ進撃した。一方上杉方(西軍)は、福島城に本庄繁長、梁川城に須田長義を配置し、伊達氏の侵攻に備えていた。「信達一統志」によれば、当時、松川は信夫山の南側を流れていたとされ、福島城下に進んだ伊達勢は、信夫山の黒沼神社付近に陣を設け、松川を挟んで福島城の本庄繁長と対峙した。しかし、梁川城の須田長義が伊達勢を背後から攻め、小荷駄方(こにだかた：武器や食糧の運搬隊)を襲って勝利した。混乱した伊達勢は本陣の帷幕(いばく：垂れ幕と引き幕)を奪われ、敗走したという。

戦後「百万石の御墨付」は反故となり、約束の地で伊達領となったのは、刈田のみだった。戦後処理として、上杉を30万石に削減し、政宗を刈田郡のみの加増により100万石ではなく、62万5千石に抑えることができた。家康にとっては、奥羽の両雄を上手に処理し奥羽の憂いを無くした点で大きな意義のある戦いとなった。政宗はその後仙台に腰を据え、城下町を整え運河を掘り、大都市仙台の基礎造りをした。



信夫山の黒沼神社

新型コロナウイルスの影響により、講座の内容に変更・中止になる場合がございますのでご了承ください。